

広島県感染症発生動向週報

[広島県感染症予防研究調査会]

1 五類定点疾患週報情報

平成23年第2週(1月10日～1月16日)

No	疾患名	週間発生数	定点当り	過去5年平均 ₁	発生記号	No	疾患名	週間発生数	定点当り	過去5年平均 ₁	発生記号
1	インフルエンザ 2	814	7.08	9.33	↑	10	百日咳	3	0.04	0.05	
2	RSウイルス感染症	63	0.88	1.22	↘	11	ヘルパンギーナ	0	0.00	0.02	
3	咽頭結膜熱	69	0.96	0.40	↗	12	流行性耳下腺炎	78	1.08	0.83	↓
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	97	1.35	1.00	↗	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
5	感染性胃腸炎	646	8.97	11.77	→	14	流行性角結膜炎	21	1.11	0.85	→
6	水痘	109	1.51	2.20	↘	15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	手足口病	2	0.03	0.15		16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
8	伝染性紅斑	16	0.22	0.17	↗	17	マイコプラズマ肺炎	6	0.29	0.18	
9	突発性発しん	44	0.61	0.58	↗	18	クラミジア肺炎 3	0	0.00	0.00	

報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	基幹
疾患No.	1	1～12	13, 14	15～18
定点数	43	72	19	21

- 過去5年間の同時期平均(定点当り)
- 鳥インフルエンザを除く。
- オウム病を除く。

急増減疾患!!(前週比2倍以上増減)

急増疾患 インフルエンザ (232件 814件)
 インフルエンザの患者報告数が、西部東保健所管内で注意報の基準(定点当たり10)を超えました。**今後さらに流行が拡大する可能性があるため、県では1月19日に「インフルエンザ注意報」を発令しました。**
急減疾患 流行性耳下腺炎 (169件 78件)

発生記号(前週と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名
一類	0	発生なし
二類	11	結核
三類	0	発生なし
四類	0	発生なし
五類全数	2	後天性免疫不全症候群, 麻しん